

令和6年度 稚内港 大規模地震・津波総合防災訓練

北海道開発局 稚内開発建設部

北海道開発局稚内開発建設部では、令和6年8月31日に稚内港の末広埠頭で大規模地震・津波総合防災訓練を開催しました。

本訓練は、大規模な地震・津波が発生した際に備えて、必要な措置を的確かつ迅速に実施できるよう、9月1日の「防災の日」(防災週間)の取り組みとして北海道開発局港湾空港部、稚内開発建設部及び稚内市との共催により、計20の機関から約100人が参加しました。



開会式

また、来賓として武部新衆議院議員、船橋利実参議院議員、鈴木宗男元国務大臣参議院議員代理千葉一幸稚内市議会議員ら約40人が出席されました。

本訓練に先立ち、稚内開発建設部長より開会宣言が行われ、続いて、稚内市工藤市長より「稚内港は、平成29年3月に稚内港湾事業継続計画を策定したところ。関係機関等の連携体制の確認、港湾機能の早期回復を目的とした本日の各種訓練を通じて、防災意識を一層高めて参りたい。」と開会の挨拶がされました。

次いで、来賓でお見えになった武部新衆議院議員から「本日の防災訓練のように、港湾管理者の稚内市、消防、警察、自衛隊、海上保安庁と、すべての皆様方がそろって訓練するということは大変重要なこと」、船橋利実参議院議員から「台風10号や能登半島地震のように、我々が想定できない災害が頻発をする時代に入ってきてい



林稚内開発建設部長 訓練開始宣言



工藤稚内市長 開催挨拶



武部新衆議院議員 来賓挨拶



船橋利実参議院議員 来賓挨拶



千葉一幸稚内市議会議員 来賓挨拶代読



①避難訓練



悪天候のため、ヘリコプターによる訓練は中止し画像により概要説明

②広域海上点検訓練



③油拡散訓練



④被災状況調査訓練
(ドローンによる状況把握も実施)

る。想定外の事態が起きた時にも迅速に対応できるための備えが確認できる訓練になることを期待申し上げる」とのご挨拶を頂きました。また、鈴木宗男元国務大臣参議院議員代理千葉一幸稚内市議会議員が「災害時の即応力を高めるため、関係各位の皆さんの対応能力向上を目指し、日頃からご尽力されていることに敬意を表するとともに、本日の訓練が地域住民の災害意識を高める一助になると確認している。」と挨拶文を代読されました。

本訓練では、北海道北西沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生し、稚内市では震度6強の強い揺れが発生。地震発生直後に大津波警報が発表され遡上高最大9mの津波が来襲、その後、津波注意報に切り替わり津波注意報も解除された状況を想定して、①避難訓練、②広域海上点検訓練、③油拡散訓練、④被災状況調査訓練、⑤港湾巡視訓練、⑥航路啓開訓練、⑦漂流者捜索・救助訓練、⑧緊急支援物資・被災者輸送訓練の8つの訓練を行いました(②広域海上点検訓練は悪天候により現地訓練から概要説明に代え訓練実施)。

緊張感漂う中、参加機関・団体の協力により滞りなく訓練が実施されました。また、「⑧緊急支援物資・被災者

輸送訓練」では、「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取り組みとして、稚内海上保安部、陸上自衛隊、稚内開発建設部稚内港湾事務所との連携を確認しました。

閉会式では、北海道開発局港湾空港部の佐々木部長より「本日の訓練は、当地域における関係機関の連携、協力を必要とする対応について総合的に行ったもので、離島からの被災者の輸送や緊急支援物資の輸送訓練など孤立集落への対応や「みなと」を活用した海上支援である「命のみなとネットワーク」の形成に向けて、大変有意義なものであった。今後は、本で行った訓練を通じて、さらなる改善点を見いだしていくとともに、各機関におかれましては、さらなる災害対応力の向上に向けた取り組みを期待する」と講評を述べられ、無事訓練が閉幕しました。

今後も、より一層の安全・安心な港湾活動の実現に向けて関係機関との連携を強化するとともに、災害時に迅速な対応ができるよう防災意識の向上に努めてまいります。最後に、本訓練に参加頂いた関係機関の皆様には、準備段階から多大なご協力を賜りましたことに感謝を申し上げます。



⑤港湾巡視訓練



⑥航路啓開訓練



⑦漂流者捜索・救助訓練



⑦漂流者捜索・救助訓練



⑧緊急支援物資・被災者輸送訓練



⑧緊急支援物資・被災者輸送訓練



佐々木港湾空港部長 講評